

令和7年度 第1回 緩和ケアを学ぶ会 参加者アンケート結果

◆日時 令和7年6月5日(火) 18:30～

◆ハイブリット開催

◆参加人数 82名(会場 30名 Zoom 52名)

◆アンケート協力者数 48名

1 事例・取り組み紹介

「独居男性が緩和ケアを選んだ事例」家族とは疎遠 ～ その後・・

ニチイケアセンター鶴岡みさき 介護支援専門員 澤谷明美 氏

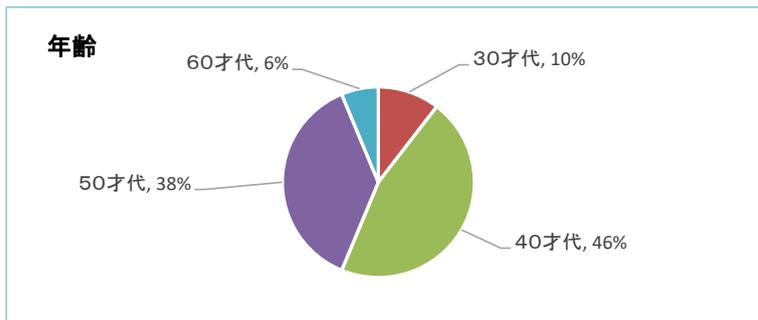
老人保健施設における看取りの事例」～ その人らしく最期まで ～

介護老人保健施設のぞみの園 看護師 伊藤愛 氏

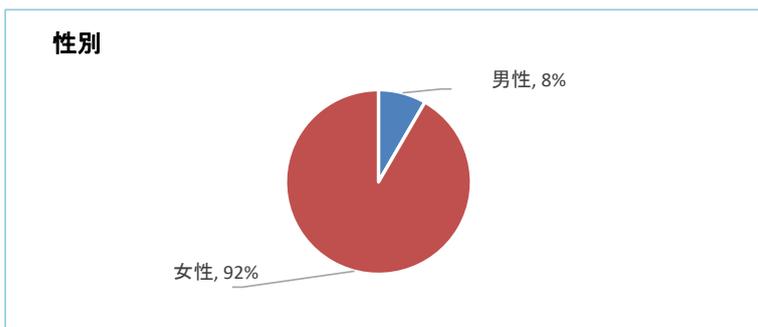
2 講義

「地域包括ケア病棟での看取りについて」

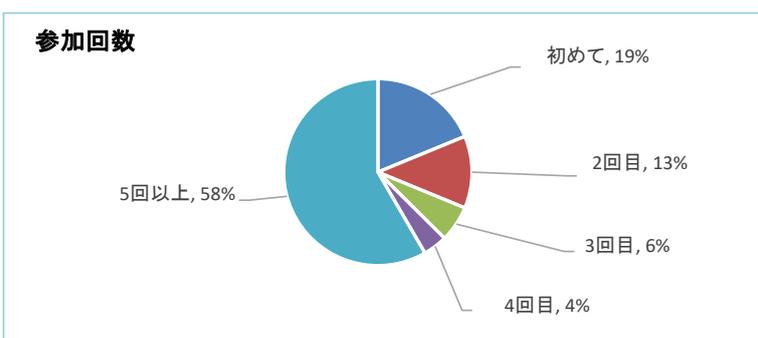
湯田川温泉リハビリテーション病院 地域医療連携室 看護師 小林磨加 氏



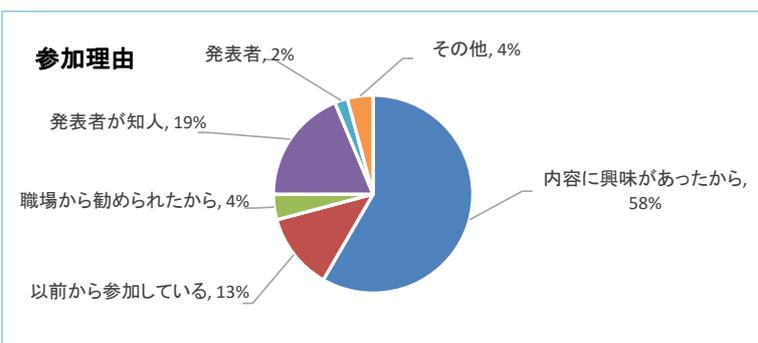
20才代	0
30才代	5
40才代	22
50才代	18
60才代	3
70才代	0
総計	48



男性	4
女性	44
総計	48

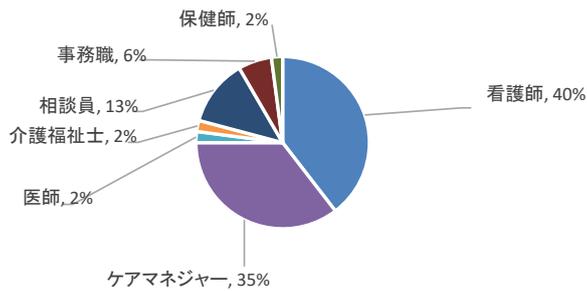


初めて	9
2回目	6
3回目	3
4回目	2
5回以上	28
総計	48



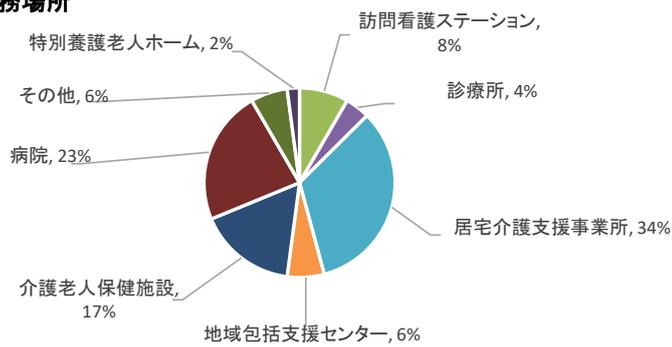
内容に興味があったか	28
以前から参加している	6
職場から勧められたか	2
発表者が知人	9
発表者	1
その他	2
統計	48

現在従事している職種



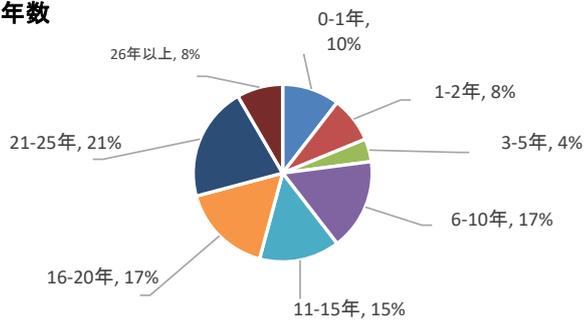
看護師	19
医師	1
相談員	6
ケアマネジャー	17
介護福祉士	1
保健師	1
事務職	3
総計	48

勤務場所



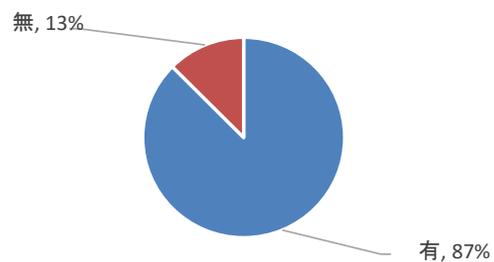
病院	11
居宅介護支援事業所	16
訪問看護ステーション	4
地域包括支援センター	3
介護老人保健施設	8
診療所	2
特別養護老人ホーム	1
その他	3
総計	48

経験年数



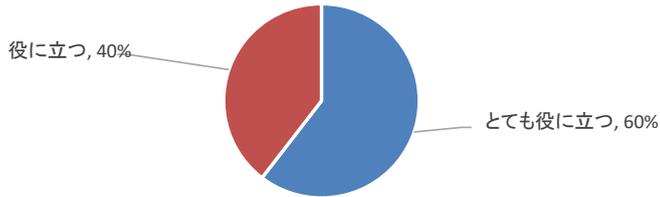
0-1年	5
1-2年	4
3-5年	2
6-10年	8
11-15年	7
16-20年	8
21-25年	10
26年以上	4
総計	48

看取りの経験



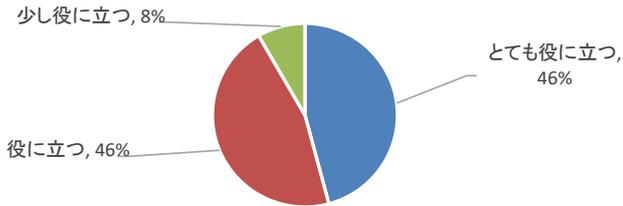
有	42
無	6
総計	48

全体的に役に立ちましたか



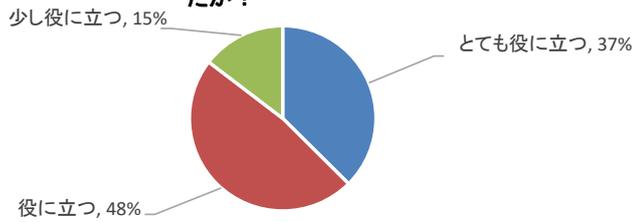
役に立つ	29
少し役に立つ	19
総計	48

事例1「独居男性が緩和ケアを選んだ事例」は役に立ちましたか



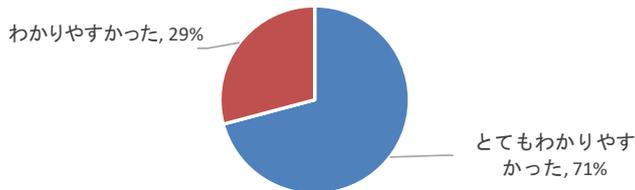
とても役に立つ	22
役に立つ	22
少し役に立つ	4
総計	48

事例2「老人保健施設における看取りの事例」は役に立ちましたか？



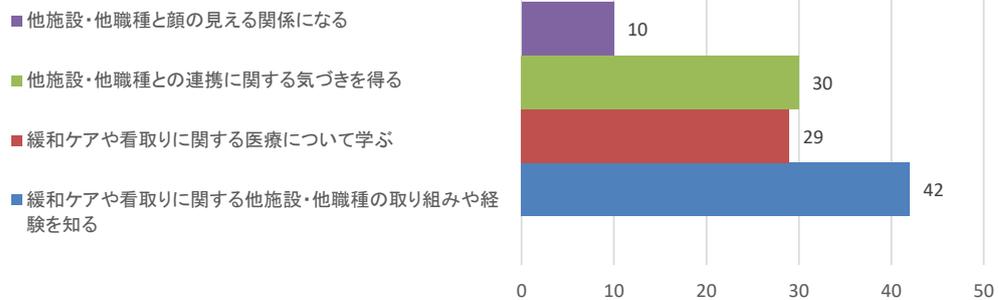
とても役に立つ	18
役に立つ	23
少し役に立つ	7
総計	48

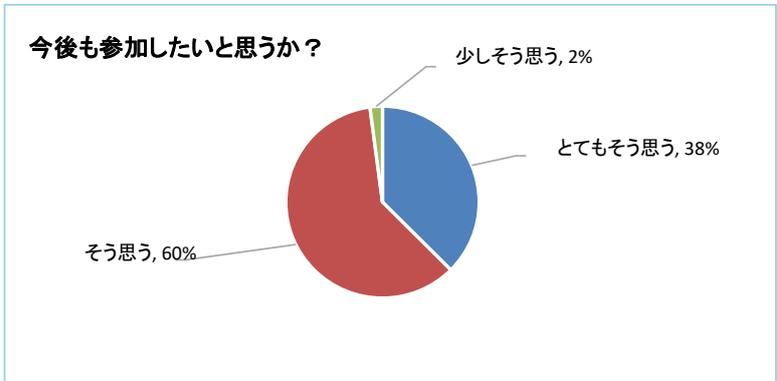
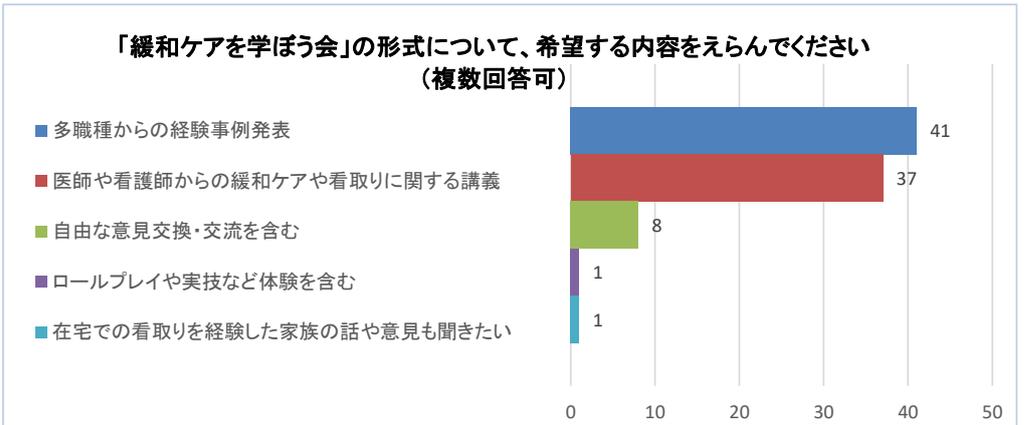
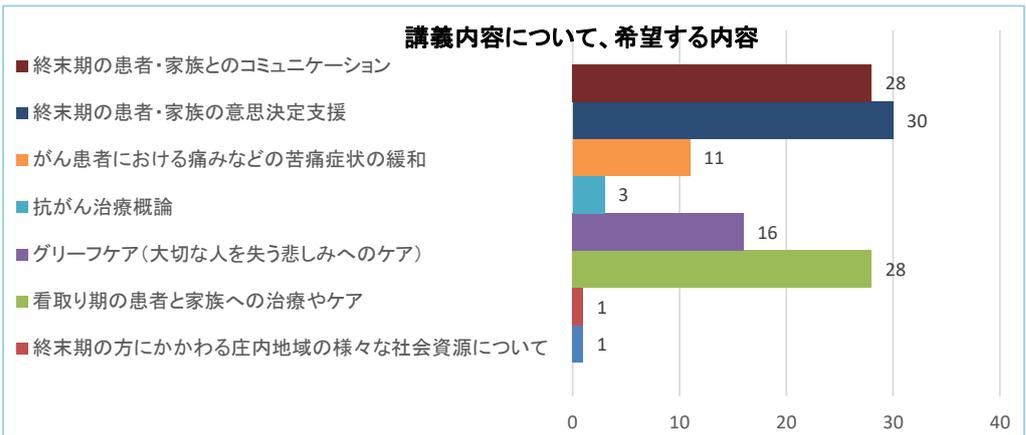
講義「地域包括ケア病棟での看取りについて」は分かりやすかったですか



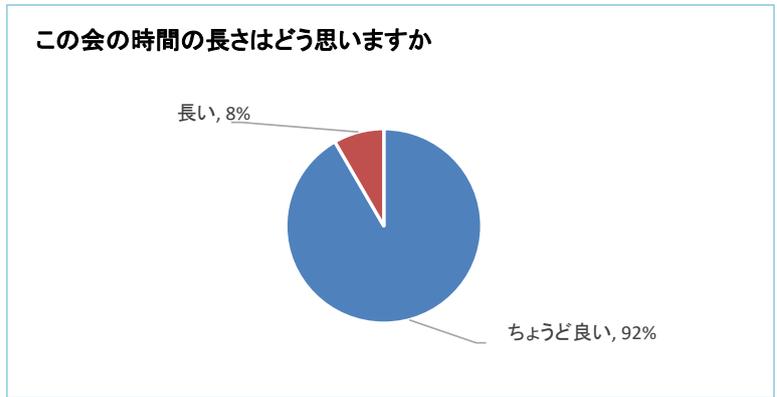
とても分かりやすかった	34
分かりやすかった	14
総計	48

緩和ケア学ぼう会はどのように役立つと思いますか





とてもそう思う	18
そう思う	29
少しそう思う	1
総計	48



丁度良い	44
長い	4
統計	48

§ ご意見・ご感想など自由記述 §

- 今回の事例発表の方のリハビリ入院中に対応したMSWです。入院中に可能な限り、家族調整等行いましたが、緊急連絡先になる親族がいない状況で、介護サービス利用も本人契約で対応していただき、ケアマネジャーさんにはご苦労をおかけしました。
退院後に関しても、ケアマネジャーさんより別件で来院された際など、ご報告をいただき、病院スタッフとも情報共有させていただきました。今回、改めて経過の報告を発表していただき、患者さん・利用者さんに寄り添った支援をしていただき、ありがたいと思いました。
今後も、身寄りの無い方や協力者不在など、課題を抱えた方は増加すると思われれます。人生の最終段階の意思決定支援のガイドラインが厚労省より提示されていますが、家族の有無に関わらず、本人の意思を尊重できる医療・介護を提供できるようにするには、私たち支援者は何ができるのか、行政も巻き込んで、地域で考えていかなければいけないと感じました。ありがとうございました。
- 研修会に参加する事で、新たに情報を得る事ができ、自分自身の知識が深まる事は有り難く思います。事例取り組み紹介では、ご利用者様に尊厳をもって「心に寄り添う」実践をしている事が素晴らしい事だと感じました。ありがとうございました。
- 他施設の取り組みや地域の緩和ケアを知る機会になり、有意義でした。ありがとうございました。
- 各事業所の取り組みが分かり勉強になりました
- 自分も事例と同じようなケースを担当し、看取りの支援を経験したことがありました。その時は、このような困難なケースをなぜ自分が担当しなければならないのか、と思った事もありましたが、事例発表を聞き、これからの時代、独居、身寄りがいない看取りのケースも一般的になっていくのだろうと思いました。早急に国の施策が進む事を願っています。
- オンラインで参加しましたが音声や映像が途中不明瞭だったのでそこを改善してほしい
- とても充実した内容で、学びが多かった。発表する方はご苦労だと思いますが、またぜひ研修会に参加させていただきたいと思っております。
- 地域で看取りを支える支援が広がっていることが分かった。それぞれでの看取りを支援する姿勢を知り自分が働く場での活力になりました。
- 各施設、事業所の取り組み、機能を知ることができて大変ためになりました。
- 様々な環境での看取りの事例が聞けて参考になった。
- 看取りと一言で言ってもさまざまな形があると理解できました。ケアマネの役割も大きいと改めて思います。併せて「その時にならないと分からなかった」というご家族の想いや経験は、広く次の方々へと繋げて知っていただくことが有用だと思いました。勉強の機会をいただきありがとうございます。私も頑張りたいと思いました。
- 初めて、発表させて頂きとても緊張しました。ありがとうございました。地域で看取りに関しての情報共有や連携の場となって庄内地域の緩和ケア、看取りが一体感を持って安心した環境で看取れる地域を目指していければいいなと感じました。大変貴重な機会を頂き、ありがとうございました。
- 初めての参加でしたが、現在関わっている事例の方々ももう少し歳を重ねたら同じような事が起こるのかな、そんな時自分はどうか動くのかとても考えさせられる研修でした。地域包括ケア病棟の役割と看取りについては大きな学びになりました。複合的な課題を持ったケースが多くなると予想される今後、関係職種から様々な学びや気づきを得られればと思います。事例紹介、講義いただいた皆様、学ぼう会の皆様ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
- 緩和ケアについて、地域包括ケアにつながるとても勉強になりました。
- ケアマネ、施設、病院とも本当に寄り添う気持ちを大切に関わっているという事がどの講演からも聞き取れ改めて、医療福祉の仕事に自分も携われて良かった、これからも利用者様ご家族様のために心通う支援ができるように感じさせられました。皆さん頑張ってる一自分も頑張らなきゃって心奮起しました。ありがとうございました。
- 地域包括ケア病棟について詳しく知ることができました。ありがとうございました。
- 身寄りのない方への支援が増えているので、大変さがよくわかります。伝えるべきことはきちんと伝えながら協力者を増やしていかなければいけないと思いました。包括ケア病棟の事例紹介も大変参考になりました。また、相談させていただきたいと思っております。ありがとうございます。
- 他施設の事例を聞き参考に出来れば良いと思いました。
- 自分自身の看取り観について考える良い機会になりました。今後も引き続き宜しくお願いします。
- 家事もあるし次の日も勤務なので、時間的に勤務時間外で行うなら18時から19時までとかにして早く帰れるようにしてほしい。



～緩和ケアを学ぼう会グループ～